

# 県政だより

みんなの思いを  
つなぐ



第010号  
平成26年  
4月6日発行

## 議員活動報告 新潟県議会議員 小島義徳

もくじ	(1) 新年度のご挨拶	(2) 2月定例会での私の一般質問内容
	(3) 県が実施する相談業務の一覧	(4) 平成26年度予算の主な内容・講演会のご案内

平成二十六年産の新潟県は、消費税増税の反動減や県内経済、人口問題等の県政課題に対応する次の三点に力を入れた施策が実施されます。

- 経済的ゆとりと精神的ゆとり、県民所得の向上や人口増加、人づくりの推進などの未来への投資を推進
- 新エネルギーなど、新たな成長分野を念頭に、地域経済の自立を目指した取組を展開
- 安心して子育てできる環境づくりや教育環境の充実など、魅力ある地域社会づくりを推進

将来に希望の持てる、魅力ある地域の実現に向けて、県政活動を行うと共に、五泉地域の医療体制整備や産業振興を始めとする地域課題にも引続き勢力的に取り組んで参ります。

## 私の一般質問内容 抜粋

**Q、**アベノミクスにより我が国経済の再生が実現可能と考えるか？

**A、**GDPデフレ率は引き続きマイナスで、デフレ経済から脱却しておらず、中小企業や小規模事業者の多い地方では、景気回復の効果が十分及んでいないと言えない。政府・日銀においては、本来の「アベノミクス」であるインフレターゲット政策など大胆なマクロ金融・財政政策により、我が国経済の再生を確かなものとして頂きたい。

**Q、**県が取組む介護ロボットや小型モビリティの導入実証における参入状況を伺う。

**A、**県は介護ロボット分野を対象に、研究会の運営や、関連製品の試作開発支援等を行っており、これまでに県内企業四社が製品の市場化に向けた取組を進めている。

また、小型モビリティ分野も、開発に向けた企業間連携を促進している。

**Q、**今後、本県農業で実用化が期待できるバイオ技術について伺う。

**A、**優良個体の選抜により水稲の品種改良を効率化する技術や、和牛を「と畜せず」に特定のタンパク質の量により肉質の良否を予測する技術がある。疲労回復効果が期待されるオルニチン、シトルリンなど機能性が高いアミノ酸を、有用微生物を利用して製造する発酵技術なども有望であると考えている。

**Q、**今後、食料危機が起こることも想定されるが、このことを踏まえ、本県の農業、特に米作りはどうあるべきか？

**A、**非主食用米を含め多様なニーズに応じた米生産で水田フル活用を進めるとともに、付加価値を高め、持続可能な力強い産業への発展を目指すべきと考えている。

**Q、**地域の病院が、自主的に病院の再編に取り組む事例が出てきている。今後、民間病院のそうした取組がある場合は、県としても積極的に指導・支援を行うべきと考えが所見を伺う。

**A、**議員がご指摘された民間病院の病院再編などの取組がある場合は、県としてもよく相談を受けながら対応する。

**Q、**新潟医療圏の阿賀町や阿賀野市、五泉市は医師・看護職員数が少なく、医療提供体制に支障をきたしている。新潟医療圏内の医師・看護職員の偏在や、医療圏内における医療提供体制の地域格差に対する知事

の所見を伺う。

**A、**圏域内のどこに住んでいても住民の皆様等に等しく適切な医療サービスが提供されることと、一定程度完結できる医療提供体制を構築することが必要である。

**Q、**県では、東部産業団地で一五メガワット、新潟競馬場跡地で四メガワットのメガソーラー発電設備を建設中だが、県直営でメガソーラー発電設備を建設し、運営する意義について、知事の所見を伺う。

**A、**県では、次世代のエネルギー・産業施策の選択の幅を拡大すべく「新潟版グリーンニューデール政策」を推進し、この一環で県直営メガソーラーに取り組んでいる。県が率先して取り組むことで市町村や民間の参入を促すと共に、地元企業の活用や売電収益を県民に還元することにより地域振興にも資すると考えている。今年度、

関連企業の産業団地への進出に繋がった事例もある。加えて、固定価格買取制度により消費者が負担する賦課金を本県に環流させ、太平洋側への富の流出を防止することにもなる。



県は全45種類の相談業務を行っている。相談窓口数は延べ305箇所になる。平成24年度の相談件数では、警察安全相談や障害者就労・生活支援センターにおける相談件数が上位を占め、福祉部門の窓口が多岐にわたることから相談の大半は福祉関連に集中している。

様々な問題を抱えてお困りの場合は、それぞれの各相談窓口に気軽にご相談下さい。

県が実施している相談業務の一覧

所管部局	主務課	No.	相談業務名	窓口数	平成24年度 相談件数
総務管理部	地域政策課	1	にいがた暮らし相談	1	353
県民生活環境部	県民生活課	2	NPO 法人設立、運営相談	1	5,626
		3	交通事故相談	1	916
	消費者行政課	4	消費生活に関する相談及び苦情処理	1	6,410
	男女平等社会推進課	5	男女平等推進相談	1	1,616
福祉保健部	医務薬事課	6	小児救急医療電話相談	1	882
		7	県民医療安全相談	13	711
		8	覚せい剤等相談	14	9
		9	医薬品等電話相談	1	357
	高齢福祉保健課	10	高齢者総合相談	1	1,429
	健康対策課	11	石綿健康被害相談	12	24
		12	難病患者医療相談	12	13,096
		13	難病患者訪問相談	12	1,423
		14	難病相談支援センターにおける相談	1	1,034
		15	原爆被爆者相談	12	70
		16	エイズ個別相談及び無料匿名 HIV 抗体検査	13	1,949
		17	ウイルス肝炎相談	13	418
		18	栄養表示関係相談	12	127
		19	生涯を通じた女性の健康支援	12	152
	障害福祉課	20	身体障害者更生相談	5	12,560
		21	知的障害者更生相談	5	1,412
		22	障害者地域生活支援センターにおける相談	15	18,460
		23	発達障害者支援センターにおける相談	1	2,825
		24	障害者就労・生活支援センターにおける相談	7	30,630
		25	障害者 110 番	1	1,798
		26	精神保健福祉相談	13	15,915
		27	いのちとこころの支援センターにおける相談	3	856
		28	ひきこもりに関する相談	13	298
		29	高次脳機能障害に関する相談	13	1,635
	児童家庭課	30	児童相談	5	3,590
		31	女性相談	1	917
		32	母子自立支援員による母子家庭等の生活・就業相談	9	691
		33	ひとり親家庭等に対する就労支援相談・養育費取得相談	1	1,012
	産業労働観光部	商業振興課	34	貸金業に関する相談	1
労政雇用課		35	労働相談	4	2,737
		36	U・I ターン相談	1	1,648
教育庁	義務教育課	37	教育センターにおける教育相談	2	1,718
		38	いじめ相談電話	1	783
	高等学校教育課	39	青少年相談	1	102
	生涯学習推進課	40	生涯学習相談	1	607
		41	家庭教育・子育て電話相談（すこやかコール）	1	962
警察本部	警務部広報広聴課	42	警察安全相談	31	37,099
	警務部警務課	43	犯罪被害者支援に関する相談	2	214
	生活安全部少年課	44	少年相談	33	3,429
	生活安全部生活保安課	45	サイバー犯罪に関する相談	1	1,644
6 部局	19 主務課		45 業務	305 箇所	180,168 件

平成二五年度一般会計補正予算

冒頭提案分

補正予算額 四一、四一七百万円

追加提案分

補正予算額 ▲三一、五〇五百万円

平成二六年度一般会計当初予算

当初予算額 一兆五、六八五百万円

(内中越大震災復興基金償還分

三、〇〇〇億円)

主な内容

【人づくりへの投資】

子育て支援

- 少子化対策モデル事業の検討
- 子ども医療費助成事業の充実
- 県単障害児保育事業の拡充
- 病児・病後児保育施設の開設

教育

- 競技力向上・選手育成基金の創設
- オリンピック選手育成
- 新潟の未来に貢献するグローバル人材の育成

- 新潟で夢をかなえるキャリア教育

- 少人数学級の推進

- 県立武道館の基本計画策定

医療

- 医師養成修学資金の拡充
- 看護学生修学資金の拡充
- 地域医療支援センターの事業拡充
- ドクターヘリ格納庫等の整備

- 県立高校看護科の設置に係る調査・研究

【産業分野への投資】

エネルギー等新産業分野

- 本県の豊富な再生可能エネルギーの利活用
- 日本海横断パイプライン構想調査研究
- 海洋エネルギー資源の開発促進
- 小型モビリティの推進

農業分野

- 水稲晩生新品種の生産・販売戦略等の策定
- 非主食用米の地域流通支援
- 施設園芸次世代モデルの創出
- にいがた夢農業・人づくり

「バイオが拓く未来農業と地場産業の夢」講演会のご案内

バイオ技術で新たな農業を拓き  
高付加価値の 6 次産業を目指す！



人と技術の未来を。ユニバイオは人と技術の架け橋として明日を創造します。

農業がバイオ技術で再生医療に進出

日時 平成26年6月2日(月) 午後7時開演  
場所 五泉市福祉会館 3階大会議室  
五泉市太田1092-1 TEL 0250-41-1000  
無 料 定員になり次第締め切らせて頂きます

講師 (株)ユニバイオ 取締役 技術開発本部長  
佐藤 征也 医学博士  
植物バイオ技術を用いた一過性遺伝子発現法という技術によって植物内で有用タンパク質を生産させ、再生医療分野や食品分野の製品化を目指している

後援 新潟県新潟地域振興局 新津農業振興部  
五泉市農林課  
主催 バイオと未来農業をつなぐ会  
申込問合せは 小島義徳事務所まで  
TEL0250-47-4875 FAX0250-47-4876

小島義徳事務所

〒 959-1803 五泉市下条 84-1 ホームページ : <http://kojima-yoshinori.jp>  
TEL 0250-47-4875 FAX 0250-47-4876 E-mail: [kojima@prcoc.co.jp](mailto:kojima@prcoc.co.jp)